

市政への反映(平成30年度メルボルン出張)

1. 出張で実現した主たる成果

- 2018年5月就任の新メルボルン市長と「世界で最も住みやすい姉妹都市の共同宣言」による連携強化の確認
- 大阪プロモーションの実施(大阪の住みやすさ、都市魅力をメルボルンの行政・企業・観光事業者へ直接PR)
 - ①姉妹都市提携40周年記念フォーラム(大阪の魅力ある取り組みを発表)
 - ②大阪プロモーションセミナーの開催
- 姉妹ストリート「スワンストーンストリート」との交流促進(記念銘板の設置、現地視察等)
- 現地で活躍する大阪人への激励(メルボルンビクトリーFC本田圭佑選手を大阪・メルボルンの架け橋として紹介)
- ロイヤルメルボルン病院と大阪市立大学医学部との連携協定締結

2. 近い将来の交流をめざす項目

- 姉妹ストリート協定に基づく連携、交流(御堂筋の空間再編検討への活用)
- ロイヤルメルボルン病院と大阪市立大学医学部との学術連携による医療現場への反映
- 観光関連関係者との連携・交流強化
- 2023年開催予定のメルボルン・大阪間ダブルハンドヨットレースにおける万博PR

3. 市政への反映をめざすもの

- 両市の医療・ヘルスケア関連企業や研究機関の交流促進
- ビクトリア州のギャンブル依存症対策の取り組みを参考にしたギャンブル依存症対策研究の促進

★出張経費総額 約390万円〔決算額〕

旅費:約252万円(うち、市長及び随行者旅費:約133万円、市事業部局担当者旅費:約119万円)

現地通訳経費:76万円、レセプション経費:42万円、その他経費:約20万円